

「受験」

北野高校 Tさん

私がヨダゼミに行き始めたのは中学二年生の冬期講習からでした。塾に入って最初のころは数学しか取っていませんでした。塾に行く前は数学はあまりできる方ではありませんでした。でも塾の授業で丁寧に教えてもらって少しずつわかるようになり、成績も上がっていきました。三年生になると定期テストや実力テストの目標点が決まり、頑張らなければいけないというやる気と焦りが出てきました。部活を引退して入試が近づいていくとどんどん焦りは増えていきました。

私は前期も後期も北野高校を受けました。テストで思うように解けず、文理学科が不合格だったとき、私はすごく不安で自信をなくしてしまっていました。後期で落ちて、私立に通うことになるのが怖くて志望校を変えることを考えていました。でもいろんな人に励まされて、志望校を変えませんでした。今、高校生になって北野高校を受けて本当によかったと思います。中三の一年間はつらくしんどく、勉強がいやになることも多くありました。でも、そこで逃げ出したりせず、頑張ったから高校生活を楽しめるのだと思います。私はヨダゼミに通っていてよかったと思います。つらいときはみんなで頑張り、遊ぶときはみんなで楽しめるヨダゼミが大好きです。

「ヨダゼミで学んで」

茨木高校 Sさん

私はこの春無事に志望校に合格しました。それはひとえにヨダゼミの先生のおかげだと言えます。中二まで別の塾に通っていた私はコツコツ勉強をつみ重ねてきたものの、伸び悩んでいました。特に数学は難易度の高い問題を長時間かけて解いていましたが、理解はできていませんでした。質問もできないまま終わっていた気がします。

中三からはヨダゼミですべてお世話になりました。頭の中のモヤモヤがすっきりと取れるように深く理解できるようになると、とても勉強が楽しくなり、成績もどんどん上がりました。それもこれもヨダの先生方がとても個性的でアットホームで授業が面白かったからです。質問も気軽に出来る雰囲気がありがたかったです。

受験が近づきさらに勉強の量が増えていき、山場は何と言っても夏期講習。学校からもたくさんの宿題が出て、塾の宿題にも追われる日々。塾のない日には一日九時間も机に向かっていました。英語の長文問題にもじっくり取り組み、一気に長文への理解が深まりました。そんな夏休みを過ごした私は本当の粘り強さと忍耐力を身につけることができたと思います。

前期試験は残念ながら不合格でしたが、受験したことは良い経験になりました。おかげで後期試験は忘れ物をすることもなく落ち着いて受験できました。

最後に行った塾の旅行、富士急ハイランドでは絶叫マシンに乗ったり友達とホテルで遊んだり大興奮の旅行で思い出ができました。

合格発表の日、友達と沈黙の中、番号を探し当てた時お互いに手を取り合って喜びました。ほっとしてお昼御飯を食べていると、心配していた先生からの電話が入り、無事合格を伝えると電話の向こうから先生の豪快な笑い声が聞こえてきました。ヨダゼミの先生方、事務のおばちゃん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

「ヨダゼミで学んで」

千里高校 Nさん

私は中三の六月に入塾しました。少し遅めの入塾で最初は授業についていくことが難しく、宿題の多さに慣れるのも大変でした。それでも日がたつとすぐに慣れ、宿題を忘れることはあつたけど授業を楽しく受けられるようになりました。苦手だった社会の定期テストではヨダゼミに入る前と比べて20点以上も上がりました。個性豊かな先生方のおかげで授業は楽しかったし、成績も上がったし何一つ不満を感じませんでした。

内申点はあまりよくなく学校の先生にも志望校は難しいと言われていましたが、千里高校に合格することができました。それはヨダゼミの先生方や仲間、親のおかげだと思っています。感謝の気持ちを忘れずに高校でもがんばりたいです。

「志望校選びはじっくり自分で」

春日丘高校 Y君

私が塾に通い始めたのは、小学六年も終わりの二月半ばでした。塾へ通うまで勉強は家庭学習をしていましたが、中学生になったら授業は難しくなるし、もし分からない問題がでも家族の中では教えることのできる人が居ないからということで塾へ通うことになりました。

正直初めは不安で、塾へ通うのは嫌でした。しかし、通う内に塾での友達もでき、更に友達も数人入塾してきた上に、先生方もとても優しく中学校に入学する頃には塾は楽しくなりました。私は中学校では勉強よりもまず一番に不安だったのは、友達ができるかということでした。この頃は勉強ができないことより友達ができないことの方が嫌だったからです。だから一年生の間は特に勉強のことは考えられず、行きたいと思う高校もありませんでした。

二年生の二学期になると、部活の先輩たちが引退し始め、あと半年もしたら受験生になるんだなと思いはしましたがまだそれほど深く高校について考えられませんでした。三年生になり、一学期の第一回進路希望調査があり、公立高校を二つ、私立高校を一つ決めました。第一志望はやはり公立高校だったので選んだ二つの高校どちらを選ぶか悩みました。一つは前期選抜入試の高校で、一年生のときから理系と文系が分かれている学校で、もう一つの学校は後記選抜入試の普通科の学校でした。両校とも学校見学へ行き、考えて自分には普通科があつていると思い、後期選抜入試の高校を第一志望校に決めました。こうして第一志望校が決まったのは中学三年生の夏休みでした。

志望校を選ぶのはそんなに早い時期でなくてもいいと思います。じっくり考えた上で自分の本当に行きたいと思う高校を自分で決め、そこに合格できるようにその学校の一つ上のランクの実力を目指して頑張るのがいいと思います。私は無事志望校に合格することができました。振り返ってみると本当にいろんな人の支えがあつて合格することができたんだなと思います。中学校での思い出や友達を忘れず高校でも頑張っていきたいと思います。

「あきらめないこと」

池田高校 Mさん

周りの皆がもう志望校のことを考え始めてそわそわしている中三の七月、私はヨダゼミに入ることになりました。数学が本当にできなかった私は案の定、すぐヨダゼミの授業のスピードについていけなくなりました。辛かったのを覚えています。宿題をやってもわからないし、どうしたらいいのかわからなくて「塾をやめたい」が口癖になった時期もありました。でも何だかんだいって最後までやめることができないまま、受験して志望校だった池田高校に合格してしまいました。自分でもびっくりです。でも唯一言えることはやっぱり合格できたのはヨダゼミに行っていたからだと思います。お世辞とかではなく本当に心からそう思います。この塾に一度入ってしまうとどんなに嫌でも何か、勉強してやろうという気になりました。信じられないかもしれませんが本当です。というのも最初のうちは先生に怒られるのが嫌で宿題を必死でするからです。ちなみに私が一番恐れていたのは数学と社会の先生です。みなさん、どうか気をつけてください。トラウマになります(笑)。でもそうやって宿題をやっていたりするうちに持続的に家でも学習できるようになります。そうしたらしめたものです。どんどん新しいジャンルの問題が解けるようになり、それが自信につながります。また集団では同じように頑張れる仲間がいるのでお互いに教え合ったり教えられたりして、それもいい刺激でした。あと所々で楽しい行事もあるので是非参加してみてください。楽しいですよ。勉強のことを忘れて楽しむことをおすすめします。

私がヨダゼミで過ごした時間は決して長くはないけれどもかなり濃かったです。辛いこともあったけどヨダゼミでしか学べないことをたくさん教わりました。今では本当に行っていてよかったと思います。先生に怒られても、やめなくてよかったなと心の底から思います。ありがとうございました。お世話になりました。

「成績が上がって嬉しかった」

池田高校 O君

僕は中学一年生になったときにヨダゼミに入りました。最初は厳しくないと思っていましたがやはり厳しいものでした。やめたいと思ったこともあります。でも出された宿題や授業をこなしていると成績が上がっていきました。

数学は中学一年生から中学三年生まで悪くて80点、たまに100点近い点数をだせました。英語でも100点近い点数をだせました。社会や理科は自分でできるといって家で勉強していましたが、最高でも70点後半ぐらしか取れませんでした。実際に社会や理科の講座を取得してみると家の自学では学べないことを学べてテストでは90点台、80点台に落ち着きました。国語は習っても無駄だと思っていましたが中学二年生のときより点数が見違えるほど上がりました。厳しくても諦めずに続ければ点数が上がります。社会や理科や国語は中学三年生からはじめて80点台になっていたのもっと早くからやっていたらさらに成績が伸ばせたのではないかと後悔しています。家では予習や復習やヨダゼミの宿題をしているだけで頭がよくなりました。僕は自分で勉強するのが苦手です。だから僕は厳しい指導のヨダゼミでないと成績は上がらなかったと思います。ヨダゼミに通ってよかったと思います。

「あこがれの留学にむけて」

箕面高校 Tさん

私は長い間ヨダゼミに通って学んでよかったと思います。どの先生もフレンドリーでさらにとてもわかりやすい授業でした。けれども宿題が多くて辛かったです。他の塾の子と比べても結構多かったです。しかしそのお陰で勉強する機会が増えてよかったなとも思います。夜遅くまで授業があったり、夏休みの12時間特訓、長期休暇の時にはほぼ毎日塾があってしんどかったけれど長島スパランドで皆で思いっきり遊びに行き、やる時はとことんして、はじける時ははじけるという感じがよかったです。

英語と数学が一年生と二年生の間でずっとまじな教科だったのに三年生になったら英語が全然できなくなってしまったけど、少しずつ頑張って箕面高校の国際教養科に最終的に合格できてよかったです。仲のよい友達と一緒にアメリカに旅行に行けるように、また三年間頑張っていきたいと思います。しかしまじは7日にある短期留学に行けるように留学テストに合格するよう頑張ります。

最後に、ヨダゼミ生は皆が仲良くって毎回の授業が楽しくわかりやすくてよかったです。ヨダゼミが大好きです！

「目標は早めに、具体的に」

三島高校 Mさん

私は中学三年生になる直前の春休みからヨダゼミに通い始めました。中学一、二年生の間は多少、成績が下がってもまだ受験生ではないし、内申点にも入らないからとあまり気にしていませんでした。しかし、一学年上の先輩達の受験が終わり、自分が受験生になると急に不安でいっぱいになりました。そんな時に全員が希望する高校へ行ける訳ではなく、落ちてしまった先輩達も少なくないという話を聞き、私は塾へ通うことを決めました。

塾へ通ってから最初の定期テストでは、それまで苦手だった数学の点数が30点も、英語は20点も上がりました。模試や五ツ木の模試でも毎回偏差値が上がり、実力が上がっていることが実感することができ、自信もついていきました。目標にしていた三島高校の偏差値に届いたときにはととても嬉しかったです。一度、模試の偏差値が下がったことがありましたが、学校の先生の判定会議でもマルを貰い、内申点も平均より高く取れたので三島高校を受験できました。

私が順調に成績を上げ、第一志望校に合格することができたのは、目標が早くに決まっていたからだと思います。三島高校には中学三年生の一学期から行きたいと思っていました。理由は単純なものでしたが、目標があることで、学校でも塾でも授業の取り組み姿勢が変わり、真剣に取り組むことができました。偏差値をただ上げようとするのではなく、具体的な目標の偏差値が決まっているので、2ポイント上がるように頑張ろうとか定めることができたので、やる気が出たんだと思います。

あの春休みにヨダゼミに通うことを決めて本当に良かったと思います。ヨダゼミに通っていなかったら絶対三島高校には合格できていなかったと思います。一年間、頑張りが続けたことができたのは友達とヨダゼミの先生方がいたからです。この一年は私にとってとても大切な一年だったと思います。

「受験は大変…でも仲間がいたから」

北千里高校 Yさん

私は小学校六年生の頃からヨダゼミに通っていました。塾に通うのは大変だったけれど、友達にも会えるのでとても楽しかったです。中学一年生から二年生の間は受験というものを全く理解しないまま毎日勉強していました。

中学三年生になり、初めて受験を理解しました。三年生では塾へ行く回数も増え、本当に大変でした。しかし、塾は分からない問題は丁寧に解説してくれるし、友達もいたので嫌だと思ったことはありませんでした。冬休みからの勉強は私立入試に向けて難しかったです。私立入試が終われば今度は公立入試という時期は、今までの復習をいっぱいしました。

受験の当日はとても緊張したけれど、今まで頑張ってきたことを絶対に無駄にはしたくないと思い必死に問題を解きました。数日後、私は合格することができ、嬉しさよりも今まで頑張ってきて良かったと思えた瞬間でした。

これからもこの経験を活かして頑張りたいです。

「ありがとうございました」

桃山学院高校 Iさん

僕は中二で入塾しました。これまで塾に行ったことがなくて夜遅くまで勉強することに驚きとまどいました。最初は二教科だったのを中三で五教科に増やしたので本当に毎日大変でした。特に夏期講習や冬期講習は朝から晩まで勉強が続いたのですごく辛かったです。夏期旅行や卒業旅行はとても楽しかったです。

僕にはどうしても行きたい高校がありました。先生には「無理」と言われましたが、どうしても受験したいと言うと、「がんばれ」と言ってくれて熱い指導をしてくださいました。おかげで最後まであきらめずに頑張れました。そして志望校を受験し合格することができました。今は毎日が充実して楽しい高校生活を送っています。これもヨダゼミで毎日遅くまで勉強したからこそだと思います。最後に先生方、これまで楽しいことやしんどいことがたくさんあったけど挫折せず志望校にのぞむ勇気を与えてくれて、そして合格へ導いて下さりありがとうございました。

「ヨダゼミで学んで」

関西大倉高校 Mさん

私は中学三年生の夏休みにヨダゼミに入りました。入るまでは全く受験生の自覚がなく内申も成績もボロボロでした。しかしヨダゼミに入るとみんなが一生涯懸命で先生方も熱心で受験生の自覚というものを思い知らされました。私はそれから授業もよく聞くようになり、しんどくても宿題をやりこなそうと頑張れるようになりました。するといつの間にか成績は上がり、あきらめていた志望校に合格することができました。

挫折しかけていた私をここまで追い込み鍛え上げてくれたのはヨダゼミのおかげです。ヨダゼミはとても厳しくて大変だけどその努力は無駄にならないので叱られてもめげずに頑張ってください！

「自分の実力を知ること！」

関西大倉高校 A君

僕は中学一年生のときから三年間塾に通いました。最初は中学の勉強についていけるのが心配でしたが、塾のおかげで勉強にはついていくことができました。ヨダゼミには今の自分の学力を知ることができるテストがあります。

初めはそのテストの成績はあまり良くなかったですが、テストの度に少しずつ成績が上がり、三年生の時には自分の行きたい高校のレベルに達することができました。入試当日は塾で勉強したことが自信となって試験に臨め、無事に行きたいと思っていた高校へ合格することができました。

だから初め成績が思うようなものでもなく、ヨダゼミで勉強していくうちに自然と良くなってそれが自分の自信にもつながると思います。ヨダゼミに行ってきたと思います。